

4. 見直しの背景

(1) 現プランの進捗状況

ア 重点事項

- ① 地域周産期母子医療センターの設置
→ 平成22年5月より海浜病院において設置いたしました。
- ② 循環器疾患への対応
→ 循環器疾患への対応については、具体的な取り組みは行っていません。

イ 取組事項

① 収入増加・確保

取組項目	現在の進捗状況					
D P C（診断群分類）包括評価支払の導入	青葉病院では平成21年度よりDPC包括評価支払を導入し、医療の標準化に努め、海浜病院では平成24年度からD P C 調査協力病院への申請を行いました。					
施設基準の届出の見直し	平成21年度では、小児食物アレルギー負荷検査の施設基準や外来化学療法加算を、平成22年度は、ハイケアユニット入院医療管理料や救急医療管理加算等の施設基準を取得しました。					
地域医療機関との機能分担と連携強化		H21		H22		H23
	計画比	計画	実績	計画	実績	計画
青葉病院	紹介率	47.8%	47.4%	48.9%	49.6%	50.0%
	逆紹介率	26.6%	25.7%	28.2%	24.3%	30.0%
海浜病院	紹介率	34.0%	39.1%	35.0%	53.1%	36.0%
	逆紹介率	31.0%	26.0%	32.0%	28.2%	35.0%
未収金の縮減	クレジットカード決済の導入、推進により、未収金の発生予防に努めました。 また、引き続き臨戸徴収を実施し、未収金の回収強化に取り組みました。					

② 経費節減・抑制

取組項目	現在の進捗状況					
S P D（物品管理システム）の導入及び拡充	青葉病院では平成21年度にSPDの機能拡充を行い、24,842千円の経費削減を行い、海浜病院では平成23年度中にSPDを稼働させました。					
後発医薬品（ジェネリック薬品）の使用の拡大	品目数比率	H21		H22		H23
		計画	実績	計画	実績	計画
	青葉病院	10.2%	8.2%	12.7%	9.9%	15.5%
海浜病院	10.8%	12.7%	13.3%	15.8%	15.8%	

③ その他

取組項目	現在の進捗状況
臨床研修の実施	管理・協力型の臨床研修病院として、青葉病院で15人、海浜病院で6人（平成21年度と比べて最大3人増）受け入れ、後期臨床研修医も青葉病院で5人、海浜病院で4人（平成21年度と比べて最大2人増）受け入れました。
医師の待遇改善	平成21年度から引き続き、医療クランクを配置し（青葉14人、海浜13人）、医師業務の負担軽減を図りました。

ウ 主要指標

区分		青葉病院			海浜病院		
		計画	実績	評価	計画	実績	評価
病床利用率（一般）	(%)	80.5	74.4	×	80.5	69.7	×
入院診療単価	(円)	45,474	51,358	○	47,500	56,485	○
外来一日平均患者数	(人)	835	837	○	618	580	×
外来診療単価	(円)	7,769	8,652	○	8,588	9,899	○
経常収支比率	(%)	100.2	100.7	○	100.1	103.3	○
医業収支比率	(%)	70.3	75.0	○	76.1	83.1	○
職員給与費比率	(%)	64.9	60.7	○	66.4	61.3	○
平均在院日数	(日)	11.1	11.0	○	13.6	11.8	○

エ 経営形態の見直し

平成23年4月より経営形態を地方公営企業法の全部適用に変更しました。

オ 現プラン全体の評価

現改革プランを全体的に評価すると、平成23年度より経営形態を公営企業法の全部適用に移行したことなど、概ね計画に沿って進捗していると認めることができます。しかしながら、病床利用率が大幅に計画を下回るなど、大きな課題を残した状況となっています。

(2) 現状の課題

ア 独立した医療安全部門が未整備

両病院ともに、リスクマネージャーは配置しているものの、組織上独立した医療安全部門が無いことから、患者からの苦情対応などを含めた総合的な医療安全の取り組みを一体的に推進することが難しい状況となっています。

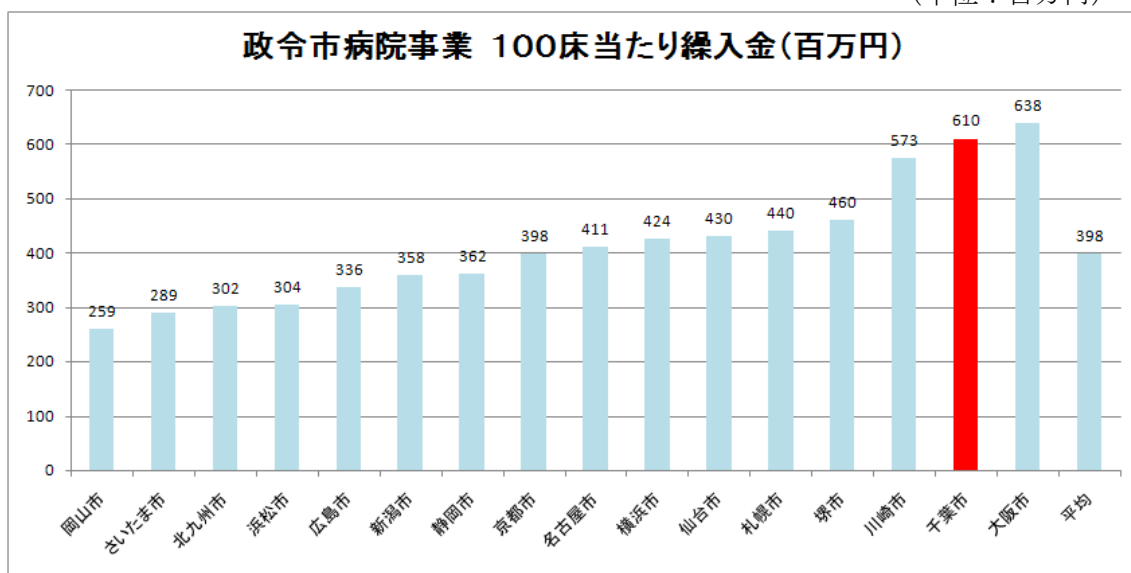
イ 統一的な人材育成方針の欠如

病院局として統一的な人材育成方針が無いことなどから、職種別階層別の教育体制が未整備となっています。このため、病院局全体として効果的な研修を実施することが難しく、人材確保の面からも、研修体制などを対外的にアピールしにくい状況となっています。

ウ 繰入金依存体質

平成22年度決算見込及び23年度予算の繰入金は、現プラン収支計画に比べると大きく削減したものとなっています。しかしながら、政令指定都市の病院事業（地方独立行政法人は除く）と比較しても、100床当たりの繰入金の額は非常に高い水準となっています。また、事業収益の4分の1程度を繰入金に依存するなど、未だ繰入金に大きく依存した経営体質となっています。

(単位：百万円)



※平成22年度決算（ただし改革プラン関係の繰入金は除く）

エ 低い病床利用率

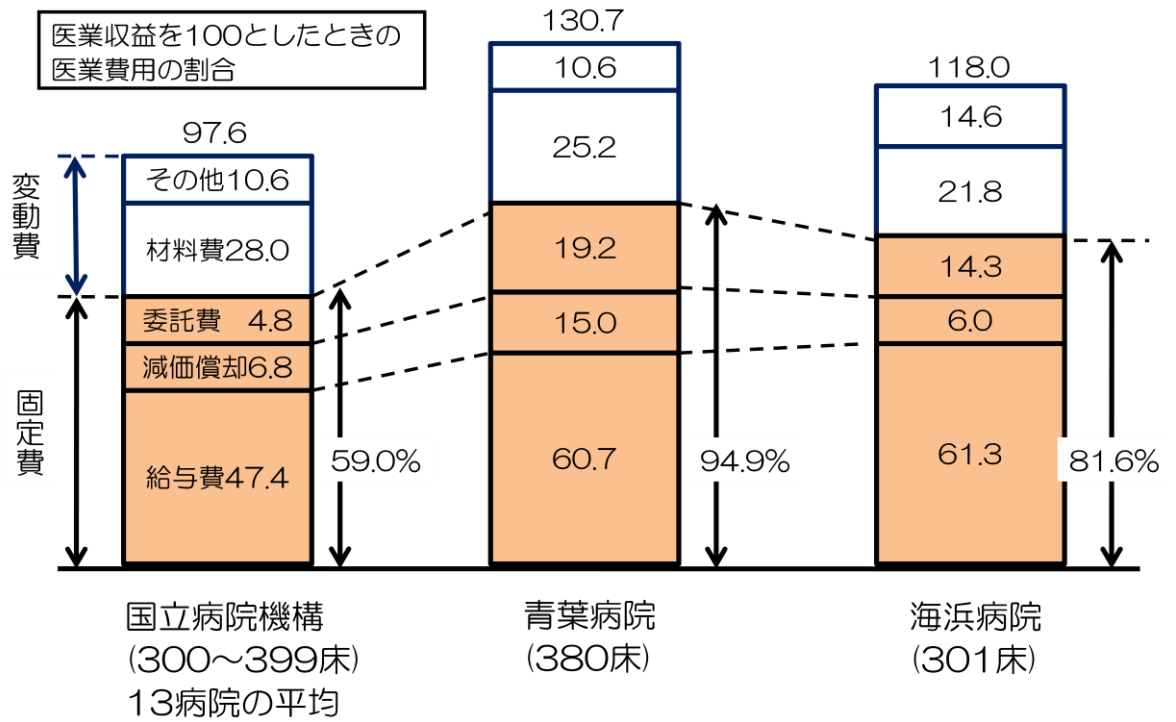
両病院ともに、病床利用率がプランの計画値を大きく下回っており、公立病院改革ガイドラインにおいて病床削減の目安とされた70%に近い状況となっています。

一般病床利用率の推移

区分	21年度			22年度			23年度	
	計画	実績	計画比	計画	実績	計画比	計画	予算
青葉病院 (%)	80.0	72.8	△ 7.2	80.5	74.4	△ 6.1	81.0	79.2
海浜病院 (%)	80.0	72.7	△ 7.3	80.5	69.7	△ 10.8	81.0	81.0

オ 高い固定費率

職員給与費比率はプランの計画値を達成する見込みですが、医業収益に対する人件費や減価償却費などの固定費の割合である固定費率が90%前後と、国立病院機構の同規模の病院と比べて、かなり高い値となっています。



※平成22年度実績